

# TOSHIBA

KGN-2023-10  
HN-2024-0098

原子力総合シンポジウム2023

「社会に貢献する原子力の役割と課題」

## 総合討論に向けた話題提供

2024.1.22

東芝エネルギーシステムズ(株)

岩城智香子

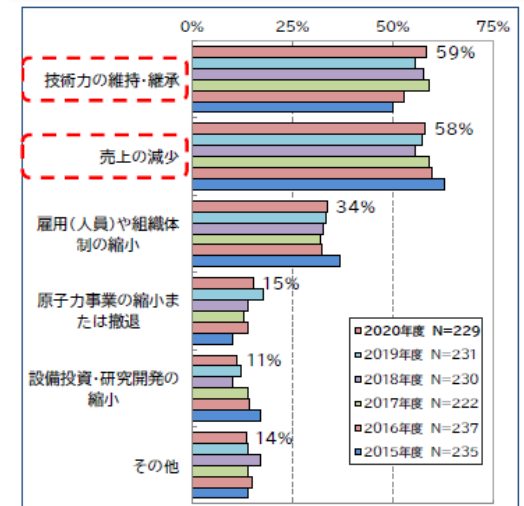
# 原子力産業界の現状

- カーボンニュートラル実現に向けて革新炉への期待の高まり
- 既設炉の再稼働が遅れ、新規プラント設計・建設が無い状態の長期化  
技術の維持・継承困難、人材流出、機器供給力の低下
- 研究開発投資の縮小  
安全性評価手法不確かさ低減に資する基盤的研究の停滞
- 大型試験装置の廃棄  
安全性向上のための大型研究開発が困難



自主的かつ継続的な安全性向上に向けた  
取り組みの再構築

原子力発電所の運転停止に伴う影響(複数回答)



出典：原子力産業界の現状、日本原子力産業協会、2021

[https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku\\_gas/genshiryoku/pdf/023\\_06\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/genshiryoku/pdf/023_06_00.pdf)

# 更なる安全性向上のために

- 「原子力安全の基本的考え方について」※によると、「卓越した安全性を絶え間なく追及する姿勢」「安全文化の醸成」
- 継続的な新しい知見の取り込み
  - 国内外の技術進展、研究開発動向のフォローなど自発的取り組み
- 技術の維持・継承には、既設炉再稼働、革新炉設計業務を通じたOJT
- 基盤技術力の維持・向上
- 安全性向上に資する研究開発の活性化は、更なる国のサポートにも期待

※日本原子力学会 標準委員会技術レポート (AESJ-SC-TR005:2012)  
<https://www.aesj.net/publish-1221>



# まとめ

実績あるプラントをベースに、安全性を強化した革新軽水炉を、2030年代に  
実用化すべく詳細設計や実証試験を推進。

安全性向上、基盤技術力強化のための仕組みの再構築、イノベーション創出  
を目指した組織横断の議論の活性化が求められる。

**TOSHIBA**